

## 2011 年度 入学 試験 問題

# 日本史 B

(試験時間 14:50~15:50 60分)

1. この問題は、入学願書提出時に選択した科目の問題です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。なお、解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。また、折りまげたり、汚したりしないでください。記述解答用紙の下敷きにマーク解答用紙を使用することは絶対にさけてください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。
6. マーク解答用紙の受験番号および受験番号のマーク記入は、電算処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。

I 次の文章について、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(20点)

縄文時代の始まりは1万2千年前ころといわれていたが、近年の  年代測定法にもとづく年代推定の進展などにより、1万5千年以上前にさかのぼる可能性が指摘されるようになってきた。これは土器の発明が氷河期にさかのぼることになり、人類の発展段階について新たな考えを必要とすることを提起している。その後、縄文土器と呼ばれる土器を用いる文化は、1万2千年以上続いていくのである。

縄文時代中期の東日本は、もっとも縄文文化が発達し、人口も多かったと推定されている。そこに暮らす人々は、竪穴住居が円形に並ぶような、 集落と呼ばれるムラを営んでいた。中央には墓域が作られるなど、定住的な生活をおこなっていたことがうかがえる。

弥生時代になると、水田稲作を営み、金属器を用いるようになる。しかし、弥生時代前期ごろまでは、東日本には優れた漆工芸などをもった  文化と呼ばれる縄文時代晩期の文化が続いていた。弥生時代中期から後期にかけて、中国の史書には国と表現されるような政治勢力が、九州・四国・本州の各地に出現する。『漢書』地理志、『後漢書』東夷伝や、『三国志』魏書烏丸鮮卑東夷伝倭人条（魏志倭人伝）に、<sup>①</sup>日本を表すと考えられる「倭」の記述が登場するのである。

前方後円墳の出現から古墳時代とするが、現在もっとも古い前方後円墳は箸墓古墳である。その後、古墳は列島の東西に広がり、各地に豪族が存在していたことがうかがえる。豪族は、<sup>②</sup>濠や柵で囲った居館を設けていた。

飛鳥時代～奈良時代においても考古学的な発見による成果は多い。奈良県には古代の遺跡が多数ある。長屋王の邸宅跡からは、長屋王家  と呼ばれる文字資料の遺物が多数みつき、当時の生活を復元する上で貴重な資料となった。終末期古墳であるキトラ古墳からは、<sup>③</sup>四神の壁画が発見された。高松塚古墳壁画とともに、カビによる壁画の変質が懸念され、現地での保存事業の難しさから剥ぎ取り保存したことも含めて大きな話題となった。また、それまで最古とされていた和同開珎より以前に、富本銭がかなり鑄造されていたことがあきらかになった。<sup>④</sup>

遷都 1300 年で話題の平城京跡は、発掘の成果を基にした整備がなされており、多くの建物が復元された。写真（4 頁）は、最近復元工事が完成した建物である。現在も、国立奈良文化財研究所などが発掘調査を継続しており、近年の平城京南側の発掘成果によって平城京が十条大路まで造られていた可能性が議論されている。

問 1 空欄 A に入る語を記しなさい。

問 2 空欄 B に入る語を記しなさい。

問 3 空欄 C に入る語を記しなさい。

問 4 下線部①の编者について、その人物の姓名を漢字で記しなさい。

問 5 下線部②について、群馬県高崎市（発見時は群馬町）で発見された代表的な豪族居館のある遺跡を記しなさい。

問 6 日本列島の旧石器時代から古墳時代における以下の文化要素の出現順序として正しい配列を次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 土偶→土器→石皿→回転式離頭鉢→銅鐸→三角縁神獸鏡→甕棺墓

イ. 石斧→土器→石鏃→釣針→ピアス型の耳飾り→銅矛→粘土槨

ウ. 貝塚→イヌの飼育→ナイフ形石器→銅剣→管玉→方形周溝墓→石人

エ. 弓矢→打製石斧→貝輪→灌漑水田→横穴式石室→墳丘墓→銅鏃

オ. 土器→細石刃→弓矢→磨製石斧→銅鏡→前方後方墳→特殊器台

問 7 空欄 D に入る語を記しなさい。



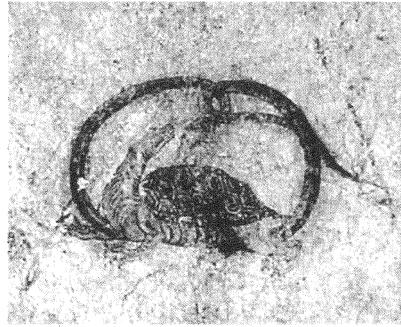
a



b



c



d

問8 下線部③の四神に関して、上の写真と語の組み合わせのうち、正しい組み合わせを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. a—白虎—西 b—青龍—東 c—朱雀—南 d—玄武—北

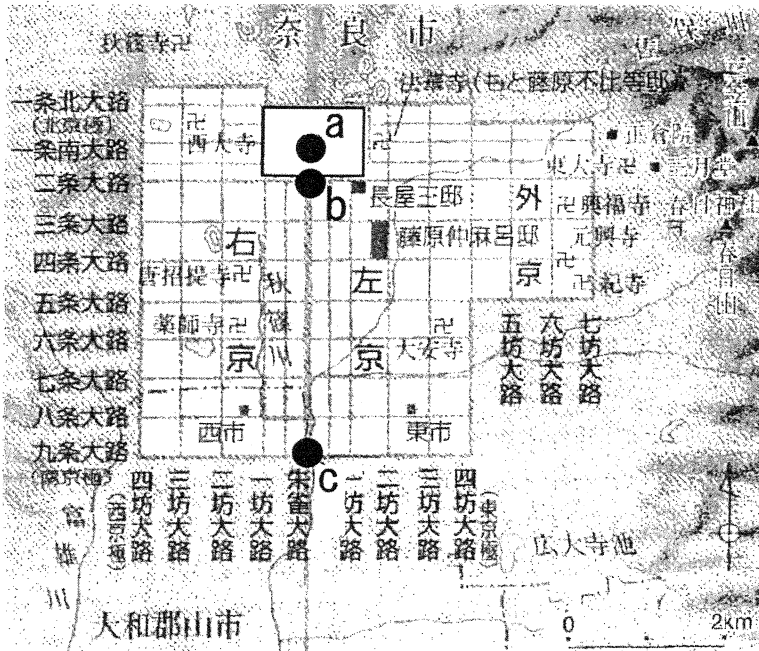
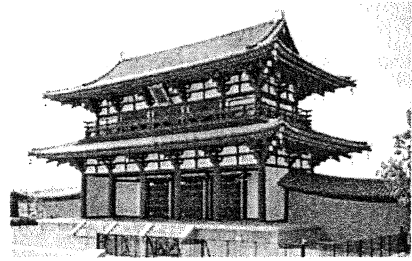
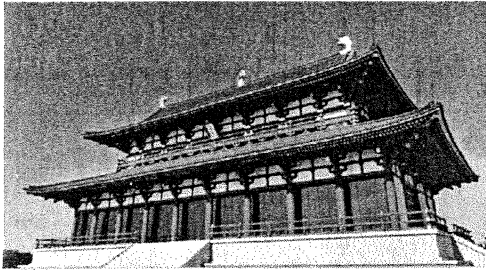
イ. a—白虎—東 b—青龍—西 c—朱雀—南 d—玄武—北

ウ. a—青龍—北 b—白虎—東 c—朱雀—南 d—玄武—西

エ. a—青龍—西 b—白虎—東 c—朱雀—南 d—玄武—北

オ. a—青龍—東 b—白虎—西 c—朱雀—南 d—玄武—北

問9 下線部④について、富本銭がはじめて大量に発見された奈良県の遺跡を記しなさい。



問10 下線部⑤に関する建物のうち、写真に示した建物の名称と、地図の上での位置の正しい組み合わせを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 朝集殿—地図のa 羅城門—地図のb
- イ. 朝集殿—地図のa 羅城門—地図のc
- ウ. 大極殿—地図のa 羅城門—地図のb
- エ. 大極殿—地図のa 朱雀門—地図のb
- オ. 大極殿—地図のa 朱雀門—地図のc

II 次の1・2の文章ならびに3の史料を読み、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(20点)

1 10世紀の前半は、のちに「延喜・天曆の治」とよばれ、理想的な政治が行われた時代とされているが、現実には律令体制が崩壊し、地方の社会に大きなひずみが生じあらわれた時代であった。延喜～天曆の間におこった、承平・天慶の乱は、これを象徴している。この頃、地方の豪族はきそって武装し、身内を中心に組織化を進め、<sup>①</sup>武士団を形成した。東国では桓武平氏が、その代表的な存在で、一族は関東一円に割拠し、時には協力し、時には争いながら、活動していた。こうした中で、下総を拠点とする平将門は、935(承平5)年に叔父国香との争いから、やがて939(天慶2)年には、常陸の国府をおそうという挙に出て、事件は一族の内紛から反乱へと様相を変えた。そこで朝廷は征討軍を下向させたが、到着する前に、国香の子貞盛と下野押領使  によって平定された。一方、西国では、伊予国司であった藤原純友が、任期終了後も帰京せずに土着し、同国の  を拠点に、在地の土豪らをひきいて海賊行為を展開したが、941(天慶4)年、清和源氏の祖源経基らによって平定された。『大鏡』には、将門と純友が談合の上で反乱を起こしたとの挿話を伝えており、朝廷に与えた衝撃の大きさを物語っている。

問1 下線部①について、武士団は、主人(惣領)のもとに、その血縁者を中心とする人々やその従者たちをもって構成されていた。それらを総称して何と言うか。その名称を記しなさい。

問2 空欄Aに入る人物の姓名を記しなさい。

問3 空欄Bに入る、藤原純友が拠点としたという伊予国にある島を、次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 弓削島      イ. 小豆島      ウ. 日振島

エ. 大三島      オ. 因島

2 12世紀半ば以降、保元の乱以来のあいつぐ戦乱や飢饉などの社会不安は、人々を宗教による救いへとかりたてた。こうした人々の願いにこたえ、仏教界に大きな

変革がおこり、諸宗派が誕生した。法然（源空）の一心に念仏（南無阿弥陀仏）をと  
となれば極楽浄土に往生できるとする浄土宗に始まり、法然の弟子親鸞は、悪人  
正機説を説き、特に東国の武士等の支持を受けた（浄土真宗または一向宗）。鎌倉  
中期になると、一遍が諸国を遊行し、踊念仏による布教で民衆や武士に念仏の教え  
を広め（時宗または遊行宗）、日蓮は、題目（南無妙法蓮華經）をとなえることに  
よって即身成仏できると説き、主に東国の武士等の信仰を集めた（法華宗または日  
蓮宗）。一方、中国（宋）に渡り、座禅により悟りをえようとする禅を学んで帰国  
した栄西（臨濟宗）、道元（曹洞宗）らによって、禅宗も広められていった。こう  
した新しい動きに刺激を受けて、南都の旧仏教界にも、現状の反省から、貧民や病  
人の救済・治療などの社会事業に力をつくす僧侶があらわれ、人々の信仰を集めた。

問4 下線部②の説は、弟子唯円がまとめた親鸞の語録に記されている。その書  
名を記しなさい。

問5 禅宗の普及には宋・元から来日した禅僧も大きな力があつた。北条時宗の  
招きによって来日し、鎌倉円覚寺を開いた禅僧を、次の中から一人選び、そ  
の記号をマークしなさい。

- ア. 蘭溪道隆      イ. 無学祖元      ウ. 東巖慧安  
エ. 一山一寧      オ. 兀庵普寧

問6 下線部③に該当する、律宗の僧侶忍性によって奈良に建設された病人救済  
施設の名称を記しなさい。

3 「また、治承四年水無月の比、にはかに都遷り<sup>④</sup>侍りき。いと思ひの外なりし事な  
り。おほかた、この京のはじめを聞ける事は、嵯峨の天皇の御時、都と定まりにけ  
るより後、すでに四百余歳を経たり。ことなるゆゑなくて、たやすく改まるべくも  
あらねば、これを世の人安からず憂へあへる、実にことわりにも過ぎたり。…その  
時おのづから事の便りありて、津の国の今の京に至れり。所のありさまを見るに、  
その地、程狭くて条里を割るに足らず。」（『方丈記』）

問7 下線部④の「都遷り」は平清盛が主導したという。現在の神戸市に位置す  
る、この「都」とは、一般に何と呼ばれているか。その名称を記しなさい。

問8 下線部④の「都」は、日宋貿易でも重要な舞台となった、今日の神戸港に近い場所に位置している。神戸港は当時何と呼ばれていたか。その名称を記しなさい。

問9 下線部⑤に「嵯峨の天皇の御時」とあるが、「この京」(平安京)のはじまりは別の天皇の時である。その天皇とは誰か。その名を記しなさい。

問10 この年(治承4年)、後白河法皇皇子以仁王とともに平氏打倒にたちあがった人物を、次の中から一人選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 源頼忠      イ. 源頼光      ウ. 源頼信  
エ. 源頼義      オ. 源頼政



III 次の文章を読み、設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは、正確な漢字で、記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(20点)

14世紀から16世紀末にかけての中世後期は、戦乱に明け暮れた時代であった。まず鎌倉幕府の滅亡に至る争乱があり、その結果、1333年には後醍醐天皇を中心とした建武政権が誕生した。しかし、1335年に北条高時の遺児時行が信濃で挙兵し、鎌倉を占拠すると、政権から一定の距離を置いていた足利尊氏は、後醍醐の命に背いて関東に出兵し、北条時行の手から鎌倉を奪回するとともに、建武政権に反旗をひるがえした。その後、京都を制圧した尊氏は、自らが立てた光明天皇(北朝)のもとで室町幕府をひらき、一方、吉野に逃れた後醍醐は、南朝として皇位の正統性を主張した。これが、50年以上に及ぶ、南北朝の内乱のはじまりである。

南北朝内乱は、当初から北朝・室町幕府側が優位に立ったが、内乱が長期化した最大の理由として、幕府内部の対立があげられる。1350年に、尊氏と弟直義の対立から発生した  と呼ばれる争乱は、その代表的な事例である。また、惣領制の解体と  相続の一般化による、武士団の内部分裂も、内乱を長期化させる一つの要因となった。

1392年に南北朝の合体を実現することによって内乱を収束させた3代将軍足利義満は、それと並行して、強大化した有力守護の勢力削減にもつとめ、1390年に土岐康行を滅ぼしたのを手始めに(土岐氏の乱)、1391年には  を滅ぼし(明德の乱)、さらに、1399年には  をも滅ぼした(応永の乱)。

続いて、6代将軍足利義教の時代には、かつて将軍の地位を望み、幕府に反抗的な態度を示し続けていた鎌倉公方足利持氏が、将軍義教によって滅ぼされる事件が発生した。この事件は永享の乱と呼ばれている。永享の乱ののち、東国では持氏の2人の遺児を擁した下総の結城氏朝が反乱を起こして鎮圧された(結城合戦)。さらに、持氏の別の遺児で、結城合戦にはかかわらなかったために生き延びて、のちに鎌倉公方に就任した足利成氏が、関東管領上杉憲忠を謀殺した事件を契機として、1454年には  の乱が発生する。以後東国は、応仁の乱を契機とする西国よりもひと足早く、戦国時代に突入した。

東国の戦国時代は、今川氏、武田氏、上杉氏、北条氏（後北条氏）ら有力戦国大名どうしの抗争を主軸に描くことができるが、これらの戦国大名は、いつも対立していたわけではなく、時には同盟を結ぶこともあった。また、それぞれが抱える領国統治の課題には、共通するものも多かった。今川氏が制定した分国法に見られる「喧嘩両成敗」の法理を、武田氏が制定した分国法でも参考しているのは、そのあらわれといえる。<sup>③</sup>

この「喧嘩両成敗」の法理は、中世社会に特徴的な自力救済の考え方を否定して、大名権力の裁定によって紛争の決着をつけさせようとしたものとみなすことができる。そして、戦国大名権力のこうした姿勢は、豊臣秀吉にも受け継がれるところとなった。領地をめぐる大名相互間の紛争を、自力救済の理念にもとづいた戦争によって解決するのではなく、豊臣政権の裁判によって解決すべきことを命じた **F** 令は、同じく豊臣政権が制定した、村どうしの紛争解決をめぐる喧嘩停止令とともに、戦国時代の「喧嘩両成敗」の法理と同趣旨の法理にもとづく法令として位置づけることができる。1587年に **G** が秀吉によって攻撃され、降伏に追い込まれたのは、**F** 令に違反して戦争を続けたことによる。

問1 下線部①について、この事件の名称を記しなさい。

問2 空欄Aに入る語を記しなさい。

問3 空欄Bに入る語を記しなさい。

問4 空欄Cに入る人物を次の中から一人選び、その記号をマークしなさい。

ア. 細川頼之      イ. 大内義弘      ウ. 斯波義将

エ. 畠山義就      オ. 山名氏清

問5 空欄Dに入る人物を次の中から一人選び、その記号をマークしなさい。

ア. 細川頼之      イ. 大内義弘      ウ. 斯波義将

エ. 畠山義就      オ. 山名氏清

問6 下線部②について、この事件が発生した西暦年を次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 1422年      イ. 1428年      ウ. 1431年

エ. 1438年      オ. 1447年

問7 空欄Eに入る語を記しなさい。

- 問 8 下線部③について、この法令の正式名称を漢字 7 字で記しなさい。
- 問 9 空欄 F に入る語を記しなさい。
- 問10 空欄 G に入る大名の姓名を記しなさい。

IV 次の1の文章と2の史料について、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(20点)

1 1707(宝永4)年、富士山が大噴火した。その際に生じた宝永山がいまにその凄まじさを伝えている。大量に噴き上げられた焼け石や砂・灰は駿河国東部・相模国・武蔵国の村や町に降り注ぎ、江戸でも降ったと『折たく柴の記』に A が記している。降灰の量は駿河国の駿東郡では2メートルを越えたところもあり、田畑・用水は砂に埋もれ、大きな被害が生じた。幕府はその復旧のため、被害の甚だしかった小田原藩領等の村々を幕府領と一時的に交換したり、被災地救済費用の名目で全国の幕府領・大名領・旗本領等に対して石高100石につき金2両の徴収を命じたりした(しかし、実際には集めた金のかなりの額が他用途に回された)。その他にも幕府は岡山藩等に酒匂川での御手伝普請を命じて、多くの人々を雇って川<sup>ぎら</sup>浚い工事を行わせたり、村々の復興のため、御救金を支給するほか、一部には砂除け開発金を支給して復興を支援したりした。

富士山噴火と並ぶ、もう一つの大規模噴火としてあげることができるのは、1783(天明3)年の B 山噴火である。ここでも土石流等により大きな被害が出て、復興のため公儀御普請(熊本藩による御手伝普請)や御救が行われたが、もはや幕府はかつてのように被災地の領知替えといった大胆な施策を行うことはできず、それどころか近隣の豪農等による主体的な復興支援を積極的に活用しようとした。<sup>②</sup>

問1 空欄Aに入る人物の姓名を記しなさい。

問2 空欄Bに入る山の名前を記しなさい。

問3 下線部①について、このように幕府が幕領・私領を問わず諸国に賦課した人足等の負担(ここでは金銭で代納されている)の名称を記しなさい。

問4 空欄Bに入る山の噴火を一因とする天明飢饉の発生により、各地で百姓一揆、打ちこわしが発生し、当時の政権を追い詰めた。この政権末期に江戸城内で刺殺された若年寄の姓名を記しなさい。

問5 下線部②について、この後、財政が悪化した幕府は人々の自助努力に多く

を求めるようになる。一例として寛政改革下の江戸では、町入用を節減して七分金積立を行って貧民救済を図っているが、この積立金・米を管理した機関の名称を記しなさい。

- 2 「殿下の聡明にまします事ハ曆数千八百四十二年、貴国の八月十二日、長崎奉行の前にて甲必丹カピタンに読聞かせし令書ニ因てなり、其書中に異国人を厚遇すべき事を詳に載するといへども、恐くハ尚未だ尽さざる処あらんか、其主とする所の意ハ、難風に逢ひ、或ハ食物薪水に乏しくして貴国の海浜に漂着する船の処置のみにあり、若信義を表し、或ハ他のいはれありて貴国の海浜を訪ふ船あらん時の処置は見えず、是等の船を冒味もしに排擯これら(1)したまはば、必しも争端を開かん、争端より兵乱を起す、……貴国をして此災害を免しめんと欲す、……貴国歴代の法に異国の人と交を結ぶことを厳禁し玉ふハ欧羅巴州ヨーロッパにて遍く知る所なり、……古法を堅く遵守して返て乱を醸かもさんとせん、其禁を弛るハ賢者の常経ゆるめ(2)のみ、是に殿下に丁寧ここに忠告する所なり」<sup>④</sup>

出典 『 続輯』(読みやすさを考えて、一部表記を改変した)

註(1)冒味に排擯 …無謀にしりぞける

(2)常経 …守るべき道

問6 下線部③について、この時、幕府が出した法令の名称を記しなさい。

問7 下線部④について、「殿下」は將軍のことを意味する。この時の將軍の姓名を記しなさい。

問8 空欄Cには、異国船来航への危機感から幕府が林家に命じて編纂した対外関係史料集の書名が入る。次の中から適切なものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 三国通覧図説      イ. 中朝事實      ウ. 御触書集成  
エ. 通航一覽      オ. 本朝通鑑

問9 この史料は徳川將軍に宛てられた親書である。その差出人として適切なものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. アメリカ大統領      イ. オランダ国王      ウ. ハリス  
エ. 朝鮮国王      オ. レザノフ

問10 この親書が届けられた年 (a) と、アメリカのビッドル艦隊浦賀来航 (b)、モリソン号事件 (c)、プチャーチン長崎来航 (d) の各年について、年が古い方から順に記号を並べ替えたものとして正しいものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. c-b-a-d      イ. b-c-d-a      ウ. c-a-b-d  
エ. c-b-d-a      オ. a-b-c-d

V 次の1, 2の文章について, それぞれの設問に答えなさい。解答は, 漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(20点)

1 明治初期, 日本は欧米諸国に対抗するために, たちおくれた経済を発展させ, 急速に近代産業を育成しなければならず, 明治政府は富国強兵, 文明開化とやらんで殖産興業政策を推進した。そこで, これまで雑多の金銀銅の硬貨, 藩札・太政官札・民部省札などの大量発行による混乱状況を整理し, 金融・貨幣制度を確立する必要から, 1871年政府は新貨条例を公布して新硬貨を造幣寮で铸造し, 全国一律の貨幣制度を定めた。<sup>①</sup> また, 1872年には太政官札などの旧紙幣と交換するために, 新しい政府紙幣を発行した。その一方で, 政府は近代的銀行制度を確立するため, 同年国立銀行条例を發布した。そして民間の出資により, 翌年東京に第一国立銀行, 横浜に第二国立銀行などが創設されたのをはじめ, その後各地に多くの国立銀行が設立された。

1870年に設置された  および, 1873年に設置された  が, 殖産興業政策を推進する中心的機関となった。政府は旧幕府や諸藩が経営していた鉱山や工場を引き継いで官営事業とするとともに, 欧米の機械・技術を導入し, 外国人技師を招くなどして官営工場を設立し経営した。旧幕府や諸藩鉱山から引き継いだものとしては, 東京砲兵工廠・横須賀海軍工廠・長崎造船所・三池鉱山・高島鉱山・堺紡績所などがある。また新設したものとしては,  (1872年設立)・深川セメント製造所(1874年設立)・品川ガラス製造所(1876年設立)・千住製絨所(1879年設立)などがある。

問1 下線部①について, 造幣首長として招聘した外国人を次の中から一人選び, その記号をマークしなさい。

- ア. モース            イ. ベルツ            ウ. キンダー  
エ. コンドル        オ. ロエスレル

問2 下線部②について, 総監役, つづいて頭取として同行の発展に努め, のちに大阪紡績会社の創立を指導するなど実業界で活躍した人物を次の中から一人選び, その記号をマークしなさい。

- ア. 五代友厚      イ. 渋沢栄一      ウ. 岩崎弥太郎  
エ. 黒田清隆      オ. 安田善次郎

問3 空欄Aに入る官庁は、主に鉄道建設や鉱山経営などを管掌した。その官庁名を記しなさい。

問4 空欄Bに入る官庁は、大久保利通が初代の卿となる。その官庁名を記しなさい。

問5 空欄Cについて、政府は生糸の品質を向上させ輸出を振興させるため、フランス人技師ブリューナを雇い入れ、フランス製繰糸機械の最新装備を整えた模範工場を建設した。その名称を記しなさい。

2 1922年ワシントン海軍軍縮条約によって、5大国の主力艦保有量は制限された  
③が、列国は補助艦による軍備強化につとめたため、軍備縮小は実現されず、建艦競争は激化の一途をたどっていた。そこで1927年田中義一内閣のとき、アメリカ・イギリス・日本は、 軍縮会議を開き、補助艦保有量の制限を実現しようとしたが、とくにアメリカとイギリスの利害が対立して会議は決裂した。第一次世界大戦の惨禍をまともに受けたヨーロッパ諸国では、なお世界平和を求める世論が強く、それを受けて、1928年パリ会議が開かれて不戦条約が調印された。不戦条約の締結は、世界平和を期待する声をさらに高まらせ、1930年ロンドン海軍軍縮会議が開催された。

浜口雄幸内閣は、 元首相・財部彪海相らを全権として派遣し、総括的対米7割、大型巡洋艦対米7割、潜水艦現有量7万8000トン保有の3大原則を要求したが、大型巡洋艦保有量の要求がうけいられないまま、政府はロンドン海軍軍縮条約の調印を命じた。これに対し、海軍軍令部は、政府が海軍軍令部の同意なしに条約に調印したのは統帥権干犯であると、激しく政府を攻撃した。野党の立憲政友会や国家主義団体などもこれに同調し、政府を非難する動きがおこった。しかし、1930年2月の第17回総選挙で立憲民政党が圧勝した後でもあったために、浜口内閣はこれらの反対を押しきって、天皇の最高諮問機関である での条約の批准に成功した。ところが11月、浜口首相が東京駅で右翼の一青年に狙撃されて重傷を負い（翌年死亡）、そのため 外相が首相代理となった。この



間、日中関税協定を締結できたものの、「満蒙問題」などをめぐって、対中国外交においても困難な問題が山積しており、「協調外交」は終焉をむかえつつあった。

問6 下線部③について、日本においては帝国国防方針による八・八艦隊計画が挫折することになった。その帝国国防方針が決定された西暦年を下記の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 1905年      イ. 1907年      ウ. 1911年

エ. 1917年      オ. 1918年

問7 空欄Dに入る地名を記しなさい。

問8 空欄Eに入る人物の姓名を記しなさい。

問9 空欄Fに入る名称を記しなさい。

問10 空欄Gに入る人物の姓名を記しなさい。